

# 越前松平家の名品 I

●会場 松平家史料展示室  
●会期 平成21年5月9日～同年7月5日

松平家伝来の資料の中から、名品とよべるものをよりすぐってご紹介いたします。今回は道具類の中から刀剣・甲冑・蒔絵工芸品などを、さらに幕末に活躍した16代藩主・松平春嶽の書や著作など、そして福井藩年中行事絵巻をご紹介します。

## 美術工芸品より (1)

### 漆芸の名品

松平家に伝来する漆芸品の中から、重厚な蒔絵がほどこされた作品など、多彩な品々をご紹介します。



(越英文庫・当館保管)

#### 【菊唐草蒔絵重箱】

濃梨子地に金銀の高蒔絵、平蒔絵、平文、付描といったさまざまな伝統技法を織り交ぜ、重厚かつ華麗に葵紋と菊唐草文を表した重箱である。身の内側と裏面は金平目地で仕上げられている。素材や技法の違いによる風合いや立体感の違いを生かし、また微妙に文様そのものの形も変化させながら、全体として動きのある表現を実現している点は、その技術力の高さを証明するものである。幕府お抱えの蒔絵師幸阿弥の一派の手になる作品であることは間違いないと考えられる。

## 美術工芸品より (2)

### こどもの成長を願って

いつの世も、親は子の健やかな成長を願ってやまないもの。松平家伝来の武具より、こどものためにあつらえられた、鎧着初めの甲冑や「稚児差し」と呼ばれるこども用の刀と外装など可憐な道具を紹介します。



(越英文庫・当館保管)

#### 【金小札緋糸織二枚胴具足】

11代藩主・松平重昌所用の甲冑。金小札を緋色の糸で織した豪華絢爛な一品。小ぶりの稚児用の甲冑である。宝暦5年(1755)9月15日、江戸の常磐橋藩邸にて重昌(当時13歳)の「御鎧着初儀」が行われており、その際に使用されたものと考えられる。

## 墨跡・記録類より

### 春嶽の書・日記・意見書

松平春嶽は幕末の福井藩主であり、隠居した後も幕府や新政府の政治に深く関わったことで有名ですが、それに伴う日記や書状、意見書の他にも、和歌や漢詩、紀行、随筆、論説などを多数残した文筆家としても知られています。

これらの書や著作からは、春嶽の誠実で温かい人柄や筆まめな性格が伝わってきますが、政治に対しては先進的な考えを持っていたことがうかがえます。



松平春嶽

(福井市春嶽公記念文庫)

#### 【虎豹変革備考】

文久3年(1863)頃に、春嶽が起草したとされる幕府改革などに関する意見書。この中で特に有名な項目は、上院の「巴力門」と下院の「高門士」からなる、二院制による議会政治の構想を示した部分で、春嶽が先進的な考えを持っていたことがわかる。

## 絵画より

### 絵巻にみる福井藩の年中行事と風物詩

「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻」は江戸時代の福井城下とその近郊を中心に、月ごとに年中行事や風物詩を選び、軽快な筆致で描いたものです。今年3月に照手2丁目の足羽川堤防(三秀プール前付近)に、この絵巻を拡大した壁画が取り付けられ、じっくりとご覧いただけるようになりました。



(福井市春嶽公記念文庫)

#### 【福井藩十二ヶ月年中行事絵巻 五月菖蒲打の図】

5月5日の端午の節句の日に、城下の武家屋敷では鯉のぼりなどの様々な幟などが立てられ、男児の祝いがなされた。また、この日は子どもたちが菖蒲の葉で地面をたたき合う「菖蒲打」と呼ばれる遊びが行われたが、福井ではこの図のように、太く束ねた菖蒲の葉を「祝いの菖蒲」と名付けて、男児が通行中の女性の尻を打って回る奇習があった。

## 越前松平家の名品Ⅰ 出展目録

No.	資料名称	員数	時代	所蔵
<b>&lt; 漆芸の名品 &gt;</b>				
1	昇龍蒔絵鞍	一背	万治2年(1659)	越葵文庫
2	菊唐草蒔絵重箱	一合	江戸時代(17世紀)	越葵文庫
3	菊流水蒔絵書箱・源氏物語	一合	江戸時代(18～19世紀)	越葵文庫
4	桐唐草蒔絵色紙箱	一合	江戸時代(19世紀)	越葵文庫
5	吉祥堆朱小簞笥	一基	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
6	玉川蒔絵菓子簞笥	一基	江戸時代後期～明治時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
7	秋草昆虫蒔絵針箱	一合	明治時代(19～20世紀)	福井市春嶽公記念文庫
8	黒巻絹花台	一基	明治～昭和時代(19～20世紀)	福井市春嶽公記念文庫
9	草花鳥堆朱香合	一点	明治～昭和時代(19～20世紀)	福井市春嶽公記念文庫
<b>&lt; こどもの成長を願って &gt;</b>				
10	蠟色塗脇指拵(稚児差)	一具	江戸時代	越葵文庫
11	蠟色塗脇指拵(稚児差)	一具	江戸時代	越葵文庫
12	脇指 銘 伊勢守藤原國次 越前於松岡	一口	江戸時代	越葵文庫
12 附	青貝微塵散蛭巻脇指拵(稚児差)	一具	江戸時代	越葵文庫
13	金小札緋糸緘二枚胴具足(11代藩主重昌所用)	一領	江戸時代(18世紀)	越葵文庫
<b>&lt; 春嶽の書・日記・意見書 &gt;</b>				
14	松平春嶽筆「我無才略我無奇云々」の書幅	一幅	江戸時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
15	松平春嶽筆「敏徳」の書幅	一幅	江戸時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
16	松平春嶽筆「大器晩成」の書幅	一幅	江戸時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
17	松平春嶽筆富士の画並びに 「とりよらふふしの高ねの云々」の和歌幅	一幅	江戸時代後期～明治時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
18	松平春嶽筆手習書	三枚	明治時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
19	松平春嶽筆日記類	十二冊	江戸時代後期～明治時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
20	虎豹変革備考	一冊	江戸時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
<b>&lt; 絵巻に見る福井藩の年中行事と風物詩 &gt;</b>				
21	福井藩十二ヶ月年中行事絵巻	一卷	江戸時代(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫

### 企画展予告

8/14(金)～10/12(体育の日)  
企画展「橋本左内と安政の大獄」  
(2階・企画展示室)

### テーマ展予告

7/8(水)～8/31(月)  
テーマ展「越前松平家の名品Ⅱ」  
(松平家史料展示室)

松平家史料展示室 展示解説シート No.40  
平成21年5月9日発行

### 福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1  
電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489  
担当 印牧信明・高瀬裕美・松村知也

印刷 富本印刷  
電話(0776)35-6815 FAX(0776)35-3749